

# 地域おこし協力隊 活動記 Vol.41



相馬地域おこし協力隊のあかりです。今回は、9月16～17日に行われた「ちびバス合宿～相馬を生き抜け～」の様子をご紹介します。

この合宿は、自然体験を通して子供たちに生きる力を身に付けてもらうことを目的に、NPO法人スポネット弘前さんが主催したものです。当日は弘前市内でバスケットを習う小学生約30名が相馬を訪れました。

協力隊は、合宿の受け入れと相馬地区のガイドをさせていただいたので、その様子をお届けします！

最初のイベントは、「相馬まるごとオリエンテーリング」。協力隊が用意した相馬に関するクイズ全20問を解くべく、グループに分かれて地区内探検。

日頃バスケットで身に付けた元気なあいさつで、地区住民にどんどん聞き込みをしていました。お昼は成岩商店でカレーライスをいただきました！

午後は「エビ釣り」と「紙漉き」に分かれて体験教室へ。

オニテナガエビの釣り堀には20名の子供が殺到し、ユニークな作戦でエビ釣りを楽しんでいました。山崎隆穂さんからすいかのご褒美も！！

一方、紙漉き体験には10名が参加し、思い思いの絵を描いて楽しみました。その後はみんなで藤田顕さんの畑に移動し、「サンつがる」の収穫体験へ。

よほど嬉しかったのか、もぎ取ってその場で丸かじりする子が続出！

続く3時のおやつでは、女性加工グループ「芽女倶楽部」と一緒に「焼きりんご」を作りました。気になるお味は…甘くておいしい～！

夜7時過ぎ。怖がる子供たちが連れてこられたのは「長慶天皇ご陵墓参考地」。上皇宮の田澤俊則さんによると、長慶天皇は学問優秀だったということで、子供たちが頂上まで登り「頭が良くなるお守り」をもらってきてもらう「肝試し」を企画しました。怖さとワクワクが入り混じった肝試しは好評！ この日は紙漉沢の子供たちも10人遊びに来てくれました。

最後は天文台で観望会。半月のクレーターを見た後、藤田館長から天の川についてお話を聞きました。宿泊はロマンチックピアの「コテージ」に泊まり、翌朝は流しそうめん、スキー場アタック、BBQと相馬を満喫していただきました。協力していただいた相馬の皆さん、本当にありがとうございました。